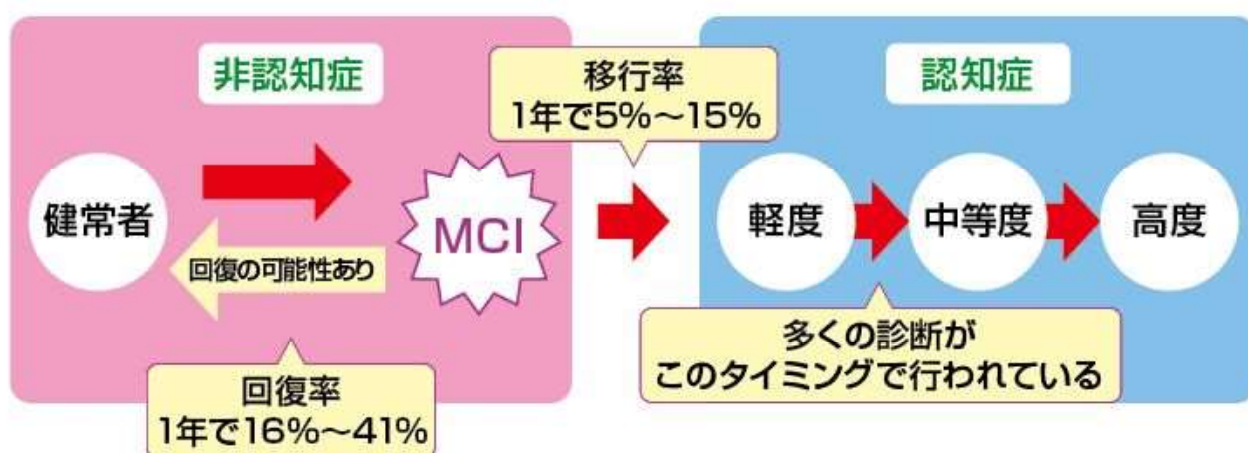


早期発見・早期対応の必要性を知りましょう

軽度認知障がい(MCI)

軽度認知障がい(MCI)とは、正常と認知症の間ともいえる状態です。記憶力に障がいがあって、もの忘れの自覚があるが、記憶力の低下以外に明らかな認知機能の障がいが見られず、日常生活への影響がないか、あっても軽度のものである場合です。しかし、MCIの人は年間で5～15%が認知症に移行するとされており、認知症の前段階と考えられています。一方で、その後の検査で認知機能が正常化している人もいるため、生活習慣病の予防などに取り組むことが大切です。



早期発見・早期対応が大切！

■別の病気が原因であったり、一時的な症状の場合があります

認知症と同じ症状のように見えても、別の病気*が原因の場合があります。また、薬の使用が原因で症状が出ていることもあります。これらは治療可能ですが、治療しないでいくと回復が難しくなったり、認知症につながってしまうことがあります。

※例えば、正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫、甲状腺機能低下症など

■進行を遅らせることが可能な場合があります

症状が悪化する前に適切な治療やサポートを受けることで、進行のスピードを遅らせることができる場合があります、今の生活をより長く続けることができます。

■今後の生活の準備ができます

症状が軽いうちに、ご本人やご家族が認知症への理解を深め、あらかじめ本人が希望する生活や支援について話し合うことで、事前に生活環境を整えることができ、生活上の支障を軽減することも可能です。